

【令和3年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和3年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学資金等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出願資格等			全体の採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接						その他の主な要件
4月	大学推薦	(公財)味の素奨学金	貸与	学部:自宅30,000円/月額(無利子) 月額(無利子) 院:自宅40,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○	3-4年生	理系	併用可	○	△	○	15名	2-3名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	(一財)関育奨学金	貸与	30,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○	2-4年生		併用可(ただし、採用不採用については考慮のうえ決定)	○	○	○	20名	1-2名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	(公財)春秋育英会	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	記載無	1名	10名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)高村育英会	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	1年生		給付奨学金との併用不可(修学支援新制度の給付型奨学金は除く)	○	○	○	2-3名	1-2名	3名	2名	2名	
6月	大学推薦	(公財)中村積善会 給付奨学金	給付	40,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	40歳以下(出願時)		併用可	○	○	○	記載無	1名	8名	1名	1名	
6月	大学推薦	(公財)中村積善会 給付型奨学金	給付/貸与	80,000円/月額 うち給付:30,000円、貸与:50,000円(無利子) ※返済分は卒業後返還が必要	最短修業年限まで	○	○	○	○	40歳以下(出願時)		給付金との併用可 貸与奨学金との併用不可	○	○	○	記載無	1名	12名	2名	1名	
4月	大学推薦	(公財)アイザワ記念育英財団	給付	学部:30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2-4年生		併用不可	○	○	○	記載無	2名	2名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)川村育英会	給付	学部:30,000円/月額 修士:50,000円/月額	2021年8月から最短修業年限まで	○	○	○	○	2年生	化学系および機械系、電気電子工学系	併用可	○	○	○	学部5名 院12名	学部1名 院1名	学部0名 院0名	学部0名 院0名	学部0名 院0名	
4月	大学推薦	福島県奨学金「福島県」	貸与	35,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			貸与奨学金との併用不可	○	○	○	123名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	(公財)フジクラ育英会	貸与	学部:30,000円/月額(無利子) 院:40,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	記載無	1名	0名	0名	0名	
4月	大学推薦	(公財)佐藤定雄国際奨学財団	給付	30,000円/月額 (初年度4-7月分を8月に、以降は偶数月に2か月分支給)	2年間	○	○	○	○	2-3年生	理工系又はスポーツに詳しい者(全学部対象)	併用可	○	○	○	15名程度	3名	4名	1名	1名	
4月	大学推薦	(公財)福岡奨学金「福岡県」 ※北北田奨学金記念財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	1年生		併用可	○	○	○	記載無	若干名	5名以内	1名	1名	0名
3月	大学推薦	石川県育英会「石川県」	貸与	44,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	80名	学内選考無	0名	0名	0名	
2月	大学推薦	(公財)G-7奨学財団	給付	上限100,000円/月額(上限1,200,000円) ※選考委員会での審査を踏まえて決定	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可(ただし支給額を調整することがある)	○	○	○	記載無	2-3名	学部7名 院15名	学部1名 院1名	学部0名 院0名	
4月	大学推薦	(一社)唐神基金	給付	240,000円/年間(半年毎に120,000円) 当社社員の無給預泊優待券:年間2枚 ※使用条件あり	1年間	○	○	○	○			併用可	○	○	○	13名	学内選考無	0名	0名	0名	
5月	大学推薦	(公財)長谷川財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2-4年生		併用可	○	○	△	22名程度	1名	学部2名 院2名	学部1名 院0名	学部0名 院0名	
9月	大学推薦	「 新規財団 」 OTC未来財団	給付	60,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	学部入学者	2021年4月時点で20歳以下、編入学生は22歳以下	併用可	○	○	○	10名	5名	3名	3名	2名	
3月	直接応募	(公財)東電記念財団【翌年度支給】	給付	50,000円/月額	最短修業年限まで(最長3年)	○	○	○	○	1-2年生(修業予定者含む)	28歳未満(2022年4月1日時点)	日本学生支援機構等の公的奨学金との併用可	○	○	○	5名程度					
3月	直接応募	在日本朝鮮人教育会	給付	学部1年生:160,000円/年額 学部2年生以上:200,000円/年額	1年間(毎年再審査あり)	○	○	○	○		30歳未満	他の給付型奨学金との併用不可(日本学生支援機構の給付金は除く)	○	○	○	記載無					
4月	直接応募	(公財)原・フルタイムシステム 科学技術振興財団 ※田原科学技術振興財団	給付	40,000円/月額	2年間	○	○	○	○	3年生	工学系	併用可	○	○	○	10名					
5月	直接応募	(公財)交通通児育英会 大学院 在学募集(10月まで) 予約募集(次8月、2次1月まで)	給付/貸与(無利子)	学部:40,000円・50,000円・60,000円/月額(うち50,000円は給付) 院:50,000円・80,000円・100,000円/月額(うち20,000円は給付)	最短修業年限まで	○	○	○	○	学部生含む	応募時25歳まで(当会高校生は29歳まで)	併用可	○	○	○	学部300名 院20名					
5月	直接応募	(公財)交通通児育英会 大学 在学募集(10月まで)	貸与	40,000円・50,000円・60,000円/月額から選択(うち20,000円は給付、貸与は無利子) ※1年生入学後希望者は入学一時金貸与(無利子)あり	最短修業年限まで	○	○	○	○	学部生含む	応募時25歳まで(当会高校生は29歳まで)	併用可	○	○	○	300名					
5月	直接応募	(一財)あしなが育英会(病気・災害・自死遺児等)	給付/貸与	一般:70,000円/月額(うち給付30,000円、貸与40,000円(無利子)) 特別:80,000円/月額(うち給付30,000円、貸与50,000円(無利子)) (3ヶ月ごと13ヶ月分支給)	最短修業年限まで	○	○	○	○		25歳未満	併用可	○	○	○	500名程度				1名	
4月	直接応募	(一財)寿財団	給付	40,000円/月額 ※年額480,000円を一括給付	2年間	○	○	○	○	3年生	25歳以下(募集年度4月1日時点)	併用可	○	○	○	10名					
4月	直接応募	清流の国びら大学生等奨学金「岐阜県」	貸与	30,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	120名					
5月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団下期【翌年度支給】	給付	自宅生:50,000円/月額 ※優秀者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	1年間 ※2021年10月から2022年9月	○	○	○	○	1-3年生	2021年10月1日時点で学部生23歳以下、大学院生25歳以下	給付奨学金との併用不可(貸与奨学金との併用可)	○	○	○	最大100名(上期:下期合わせて)					
7月	直接応募	(公財)似島国際奨学財団上期【翌年度支給】	給付	自宅生:50,000円/月額 ※優秀者には月額最大3万円の学習奨励金を追加支給	1年間 ※2022年4月から2023年3月	○	○	○	○	1-3年生	2022年4月1日時点で学部生23歳以下、大学院生25歳以下	給付奨学金との併用不可(貸与奨学金との併用可)	○	△	○	最大100名(上期:下期合わせて)					
4月	直接応募	大田区奨学生<大田区>	貸与	35,000円以内/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○			併用可	○	○	○	60名程度					
4月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度	返還補助	補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額※対象者に決定された年04月から2年間に貸与を受けた金額に限る。有利子奨学金の場合、利息は補助対象外。補助金額は、日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限	6年間就業すれば対象となる	○	○	○	○	1年生	工学、理学、農学、薬学	地方公共団体が行う奨学金の返還支援との併用不可	○	○	○	25名程度(うち奨励枠5名程度)					
9月	直接応募	山口県奨学金返還補助制度(2次募集)	返還補助	補助対象期間の月数÷72×奨学金の返還額 ※対象者に決定された年の4月から2年間に貸与を受けた金額に限る ※有利子奨学金の場合、利息は補助対象外 ※補助金額は、日本学生支援機構の無利子奨学金の最高額が上限	就業後12年間のうち最大6年間	○	○	○	○	1年生	工学、理学、農学、薬学	地方公共団体が行う奨学金の返還支援との併用不可	○	○	○	15名程度					
5月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援事業(産業団体等連携枠(2次募集))	返還補助	26,000円(※)×平成31年4月以降の貸与月数(上限額) ※指定就業先以外の県内事業者に就業した場合は13,000円		○	○	○	○			併用可	○	○	○	40名					
5月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業奨励補助金	返還補助	卒業前2年間の貸与額(上限)		○	○	○	○		理学部、工学部もしくはこれらに準ずる学部・研究科等	併用可	○	○	○	32名程度					
5月	直接応募	(一財)富山文化財団	給付	300,000円/年額	1年間	○	○	○	○			併用可	○	○	○	32名程度					
6月	直接応募	(一財)パロク村井博之財団	給付	30,000円/月額	1年間	○	○	○	○			他の給付奨学金との併用不可	○	○	○	30名程度					
7月	大学推薦	(一財)理と財財団【翌年度支給】	給付	80,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	4年生(選考時)	理工系	併用可(日本学生支援機構・市町村等の奨学金は併用可)	○	○	○	30名	1名	6名	1名	1名	
6月	大学推薦	(一社)大学女性協会	給付	一般奨学生:200,000円/1回限り 社会福祉奨学生:学部100,000円、院200,000円/1回限り	1回限り	○	○	○	○	2年生		併用可	○	○	○	一船6名 福祉32名以内	一船1名 福祉1名	一般2名 福祉0名	一般1名 福祉0名	一般0名 福祉0名	
7月	大学推薦	(公財)レオロジー記念財団【翌年度支給】	給付	学部:30,000円/月額 修士:50,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	3,4年生 選考時	工学部・理学部系、農水産学部系、生命科学部系等	併用可	○	○	○	学部20名程度 修士25名程度	学部2名程度 修士2名程度	学部1名 院2名	学部1名 院1名	学部0名 院0名	
7月	直接応募	(一財)高久国際奨学財団【翌年度支給】	給付	70,000円/月額	1年間	○	○	○	○	学部生含む		併用不可(貸与型は除く)	○	○	○	約3名					

【令和3年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和3年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学会等名	給付/貸与	金額(円)	受給期間	学 程				年齢	専門分野	併用条件	出 願 資 格 等			全体での採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数			
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接						その他の主な要件		
7月	直接応募	大田区奨学生(在学生随時) <大田区>	貸与	35,000円以内/月額(無利子)	最短修業年限まで	○						○	○	・学級生で貸付を開始する日の1年前から引き続き大田区内に居住している保護者等に扶養されており、以下のいずれかに該当すること ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で収入が急変した世帯の者 ・新型コロナウイルス感染症の拡大による影響で募集期間中に申し込みができなかった者 ・世帯中心の死または罹病もしくは障害を蒙り、家計の急変があった世帯の者 ・学業成績が5段階評価で平均3.0以上であること	記載無								
7月	直接応募	(一財)佐々木樹育英会(口語俳句学生奨学金)【翌年度支給】	給付	500,000円/年額	2021年4月から1年間(在学中に限る)	○	○	○	28歳以下(2021年4月1日時点)					・日本語を有し、学部・大学院に在籍する者で次の全てに該当する者 ・口語による詩・アフリズム・俳句・川柳・短歌に対する創作意欲がある者 ・優れた作品を通して、文学の発展に寄与するという熱意を有する者 ・当財団運営の口語俳句投稿サイト72chに規定以上の作品投稿をした者 ・奨学金給付通知書授与に必ず出席できる者(原則として欠席する場合は採用が取り消される)、財団主催イベント等に原則出席できる者 ・日本語を有し、学部・大学院において建築(構造設計・設備設計を含む)を専攻する者で次の全てに該当する者 ・考え方が優れた者 ・建築及び建築文化の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・一般建築士・構造設計・設備設計一級建築士として検定し、東京都にて自ら建築士事務所の開業を志している者(組織設計事務所、建築会社、不動産開発業者等への勤務を希望する者を除く) ・奨学金給付通知書授与に必ず出席できる者(原則として欠席する場合は採用が取り消される)、財団主催イベント等に原則出席できる者	5名								
7月	直接応募	(一財)佐々木樹育英会(建築(構造設計・設備設計を含む)専攻学生奨学金)【翌年度支給】	給付	学部:500,000円/年額 大学院:1,000,000円/年額	2021年4月から1年間(在学中に限る)	○	○	○	29歳以下(2021年4月1日現在)	建築(構造設計・設備設計を含む)			○	・日本語を有し、学部・大学院において建築(構造設計・設備設計を含む)を専攻する者で次の全てに該当する者 ・考え方が優れた者 ・建築及び建築文化の発展に寄与するという高い志と熱意を有する者 ・一般建築士・構造設計・設備設計一級建築士として検定し、東京都にて自ら建築士事務所の開業を志している者(組織設計事務所、建築会社、不動産開発業者等への勤務を希望する者を除く) ・奨学金給付通知書授与に必ず出席できる者(原則として欠席する場合は採用が取り消される)、財団主催イベント等に原則出席できる者	若干名								
7月	直接応募	徳島県奨学金返還支援制度	返還補助	(1)無利子奨学金借受総額の1/2(既卒者は左記又は返還残額のいずれか低い額)(上限:100万円) (2)有利子奨学金または(1)以外に対象と認められる奨学金借受総額の1/3(既卒者は左記又は返還残額のいずれか低い額)(上限:70万円) ※(1)(2)両方の奨学金貸与を受けた場合は(1)により算定した額(70万円)を満たさない場合は、(2)を合算して上限70万円	就業開始年度から起算して4年目から8年目までの間	○	○	○						・日本学生支援機構等の有利子奨学金または有利子奨学金の貸与を受けている(した)者で、既卒者は返還残額がある者 ・学部、大学院を令和2年度卒業(修了)予定者(3月卒業に限る)または令和3年度卒業(修了)予定者および既卒者(令和2年度以前卒業(修了)者) ・令和3年度卒業予定者および令和2年度卒業予定者は大学等卒業後、既卒者は募集期間を経過した日以後に県内に住所を有する者(公務員を除く) ・徳島県内に住所を有する予定で、かつ既卒者は県外から移住する年齢30歳(令和3年4月1日時点)までの者 ・病気、けが等やむを得ない事情による場合を除き、大学等修業年限以内で卒業(修了)したまたは(する見込み)の者 ・奨学金返還を希望していない者 ・一定の県内就業を返還免除要件とする公的給付制度を利用していないまたは利用しない者 ・一定の県内就業を給付要件とする公的給付制度を利用していないまたは利用しない者	150名程度								
7月	直接応募	三重県地域と若者の未来を拓く学生奨学金返還支援事業(指定地域枠)(業種指定枠)	返還補助	在学中に借受予定の奨学金総額の1/4、既卒者は認定時点の奨学金借受総額の1/4(いずれも上限100万円)	卒業(修了)後、就業し対象地域に4年前居住した場合には認定時点の奨学金借受総額の1/3を交付し、8年間居住した場合には残額を交付	○	○	○	35歳未満(令和3年3月31日時点)				○	・日本学生支援機構第一種奨学金またはこれに準ずる奨学金を借り入れ、返還予定であること。既卒者の場合は、返還中であること ・申請時に最終学年またはその1年前の学年の在学中で、就業先が決まっていない者または大学卒業後3年以内でかつ就業先が決まっていない者(ウイターとなる県外居住者対象) ・指定地域枠は、指定地域(募集要項参照)への定住を希望し、かつ企業・団体に就業を希望する者。業種指定枠は、指定業種(募集要項参照)のうち県内に本社を有する企業・団体に就業を希望し、かつ県内への定住を希望する者 ・常勤雇用または個人事業主として就業を希望する者(公務員等を除く)	40名(指定地域枠15名、業種指定枠25名を予定)								
8月	大学推薦	(公財)帝人奨学会 帝人久村奨学生(博士課程)【翌年度支給】	貸与	100,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで			○	○	医学・薬学・バイオ学系、理学系、工学系、情報学系等	併用可		○	○	・2020年秋または2021年4月に国内大学の博士課程に進学することが決定している、または見込まれている大学院生 ・専攻分野あり ・修了後、財団指定の大学研究機関等で学術研究活動に所定期間(貸与期間の2倍の期間)従事した場合に返還が免除される制度あり	10名程度(うち1名程度は留學生)	2~3名	1名	1名	1名			
8月	直接応募	(公財)本庄国際奨学財団	給付	※学位取得までの最短期間にある期間で以下から選択 (1)月額20万円を1~2年間 (2)月額18万円を3年間 (3)月額15万円を3年1か月~5年間	学位取得までの最短期間			○	○	○	併用不可		○	○	・2021年4月時点で大学院に在籍している者、または2021年4月に入学を予定している者 ・専門職大学院は原則対象外だが、研究計画を提出できる場合は応募可能 ・奨学金受給中の期間にアルバイトは不可、(TA、RA等は可、一部例外あり) ・2021年4月時点で在籍期間が残り一年以上あること ・奨学金受給中は、4年固額あり ・国際親善や交流に理解を持ち、財団主催行事へ積極的に参加・協力ができる者 ・大学院修了後、母国に貢献する将来計画を持つ者	若干名							
8月	直接応募	鹿児島県奨学金返還支援制度	返還補助	大学(学部)に在学中に借り受けた機構奨学金・育英財団奨学金の全額		○	○	○					○	○	・日本学生支援機構第一種奨学金または鹿児島県育英財団入学生奨学金の貸与を受けている(した)者 ・鹿児島県内の高等学校等を卒業した者または鹿児島県外の高等学校等を卒業した者、又は高等学校卒業程度認定試験合格者(鹿児島県内に生活の本拠を有する者の子弟等)で県内の中学校を卒業した者に限る ・大学または大学院に在学し、令和5年3月(令和4年度中を含む)に大学等を卒業(修了)予定の者 ・卒業(修了)後、鹿児島県内企業等に就業する意志があり、かつ県内居住を希望する者 ・鹿児島県が実施する返還免除制度に該当する者(公務員を除く) ・鹿児島県看護職員等修学資金、鹿児島県獣医師確保対策修学資金、鹿児島県保育士修学資金	20名程度							
8月	直接応募	旭川市若者地元定着奨学金返済補助事業	返還補助	旭川市内に定着している期間のうち3年間を限度とし、奨学金の返還額として返済した金額の1/2を年度ごとに補助(1年度当たりの補助上限額あり)	市内定着日から起算して3年間			○	○														
4月	大学推薦	(一財)いで環境・文化財団	給付	200,000円/年額(一括支給)	1年間(次年度も応募することは可)	○	○	○	2年生以上	環境分野	併用可		○	○	・令和3年4月1日現在、学部2年以上で正規課程において環境分野を専攻していること(環境分野におけるシンポジウム等での発表や環境政策提言等を行った経験があれば尚可とする) ・最低として、GPA2.0以上の者 ・採用された場合、次年度も応募することは可	30名程度	2名	2名	1名	1名			
9月	直接応募	(社)さぼろと21 堺市一部仁子 学生支援プログラム(難民)【翌年度支給】	給付	学部:400,000円~800,000円/年額 院:600,000円~1,000,000円/年額	1年間			○	○	○			○	○	○	・2021年4月に大学3・4年生、大学院(修士・博士)に在籍・進学見込みの者 ・インドシナ難民、ベトナム難民、第三国定住難民およびその子弟または中国帰国者三世、日系定住者(中南米など)二世(同等の事情があるとみなされる外国籍・元外国籍の学生も対象) ・専攻分野の指定はないが、主に理系優先、大学院在籍・進学予定者は修士課程を優先 ・財団主催行事に参加できる者	10名程度						
8月	直接応募	アメリカ・イアハート奨学金【翌年度支給】	給付	US\$10,000/1回	1回限り			○			航空宇宙科学関連又は航空宇宙工学関連	併用可				・航空宇宙科学関連または航空宇宙工学関連の分野の大学院博士課程に入学が決定しているか、在籍している成績優秀な大学院生 ・博士課程を少なくとも1年間修了している申請時点で航空宇宙分野で修士号を取得していること ・2023年4月以前に修了しないこと ・博士研究員の応募、前年のアメリカ・イアハート奨学金は1年延長不可	全世界から35名						
9月	直接応募	ココ・コー教育・環境財団【翌年度支給】	給付	40,000円/月額	正規の最短期間	○				26歳以下		併用可		○	○	・2022年3月に卒業見込みの学部生で2022年4月に修士(博士前期)課程へ進学する者 ・環境問題への取り組みとして、地球・環境資源に係る学習を学ぶ者(①教科書に使用される資源)②水③温室効果ガス④再生可能エネルギー ・給付期間中に退学または休学以外の理由(他の併用不可の奨学金を受けるためなど)で本奨学金を辞退する場合は、給付済みの奨学金を返還する必要がある	10名						
9月	直接応募	タウト奨学金(公財)公益推進協会)	給付	200,000円/年額	1年間	○	○	○	25歳以下			併用可		○	○	・税理士資格または公認会計士資格の取得に専念し向学心がありながらも経済上の理由で資格取得の継続が困難である者 ・25歳以下で学生又は就労していないこと ・世帯年収が給付所得者700万円以内(収入金額)、給付所得者以外350万円以内(所得金額)であること ・両親のいずれかが会社経営者の場合は対象外 ・税理士試験2科目以上合格しているまたは公認会計士試験1回以上受験したことがあること ・継続を希望する者は成績を証明する資料に基づき支給継続の有無を判断する	10名程度						
9月	直接応募	<新規財団> 松山市特別奨学生<松山市>	貸与	300,000円、500,000円、700,000円、800,000円、1,100,000円から選択(無利子) ※修学に必要となる費用に応じ貸与	1回	○	○	○				併用可				・松山市出身(募集開始時現在、松山市内に1年以上居住している者の子弟で松山市の中学校または高等学校を卒業した者)の学部または大学院生 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響でアルバイト収入や家庭からの援助(仕送り等)が半減し、経済的理由により修学が継続することが困難な者 ・滞学保証人(独立生計の成年者で、住民税または固定資産税が課税され、かつこれを滞納していない)1名が必要	200名程度						
10月	大学推薦	JES・ソフトバンク人材育成奨学金【翌年度支給】	給付	80,000円/月額 一時金40,000円(令和3年7月支給)	1年間			○	○	令和3年9月30時点まで28歳未満 人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)	併用可		○	○	・令和3年4月に、大学院修士(博士前期)課程1年次に正規生として在籍する者 ・応募時点で人工知能(AI)分野(情報工学、情報科学、統計学等)の学修・研究に取り組んでおり、令和3年4月以降に同分野の学修・研究に取り組む ・大学院生(修士課程)として在籍していること ・採用された場合、協会および寄付者の要請に応じ、懇親会等への参加、インターンシップへの応募およびアンケートへの回答をしなければならない ・採用された場合、受給期間終了まで、本奨学金を辞退し、他の奨学金を受給することはできない	最大100名	2名	0名	0名	0名			
10月	直接応募	(公財)ヨネックススポーツ振興財団【翌年度支給】	給付	学部:50,000円以内/月額 院:60,000円以内/月額	1年間	○	○	○	申請年度4月2日時点で30歳未満	スポーツ学等						・学部又は大学院に在学し、体育学等を専攻する学生、またはスポーツを積極的に行う学生で、スポーツを通じて明るく楽しく活気に満ちた社会の実現に寄与し、他の範となる者 ・以下のいずれかを満たしていること ・1専攻するスポーツ種目において、自他共に認める力量を有していること ・2青少年スポーツ振興のための指導者を目指していること ・採用された場合、活動報告書(年2回)の提出義務あり	記載無						
10月	直接応募	清流の国ぎふ大学生等奨学金(第2次募集)《岐阜県》	貸与	30,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○						併用可		○	○	・岐阜県内の高等学校等を卒業した学部生で、県内に住所を有し、県外の大学に在学していること ・卒業後に岐阜県に帰郷する意思があり、かつ学業成績が優秀でありながら、経済的理由により修学が困難であると認められる者 ・申請時に未成年の場合は、親権者または未成年後見人が岐阜県内に住所を有すること ・成績基準・家計基準あり ・卒業した日の属する月の翌月から起算して9ヶ月以内に岐阜県内に居住かつ就業し、5年間継続することにより、奨学金の返還が免除される制度あり ・学部生で、下記のすべての条件を満たしていること ・健康であり、学業成績、人物ともに優秀であること(学業成績目安:大学等における総評のうちA判定以上)1/3以上であること ・学費の援助を必要とする家計状況であること ・高校卒業済みであること ・国の実施する給付型奨学金を受給しなくして申請していること	15名						
10月	直接応募	菊池久治助学奨学金(社)佐倉市福祉協議会【翌年度支給】	給付	入学料、授業料、施設費等学校納付金として年間1,500,000円を限度とする実費(無利子)	正規の最短期間	○			満23歳未満			併用可		○	○	・理学系大学院を修了し、大学院在学中に日本学生支援機構の奨学金を受け、返還を行っている者で以下のいずれかに該当する者 ・新卒者:平成30年3月以降に、理学系大学院(修士・博士)を修了し、対象企業(案内参照)に正社員として就職した者 ・転職者:理学系大学院(修士・博士)を修了した上で、石川県外に主たる事業所を有する企業を平成28年10月1日以降に就職し、対象企業(案内参照)に正社員として就職した者 ・申込日現在で、理工学部・工学部もしくはこれに準ずる学部、研究科等に在学し、令和2年度(2021年3月)または令和3年度(2022年3月)卒業(修了)予定者 ・日本学生支援機構第一種奨学金、第二種奨学金の貸与を受けている者 ・令和2年度卒業予定者(令和3年3月)または令和3年度卒業予定者(令和4年9月)末までに対象企業(詳細は募集要項参照)における、企画・開発、製造部門への就職を予定している者 ・令和2年度卒業予定者は令和3年4月初日、令和3年度卒業予定者は令和4年4月初日を起点とした10年間のうち8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること	若干名						
10月	直接応募	石川県ものづくり人材奨学金返還支援制度	返還補助	大学院に在学中に貸与された奨学金のうち、対象企業に勤務して3年間経過した時点における奨学金貸与額の返還残額(上限100万円)		○	○			理系						・理学系大学院を修了し、大学院在学中に日本学生支援機構の奨学金を受け、返還を行っている者で以下のいずれかに該当する者 ・新卒者:平成30年3月以降に、理学系大学院(修士・博士)を修了し、対象企業(案内参照)に正社員として就職した者 ・転職者:理学系大学院(修士・博士)を修了した上で、石川県外に主たる事業所を有する企業を平成28年10月1日以降に就職し、対象企業(案内参照)に正社員として就職した者 ・申込日現在で、理工学部・工学部もしくはこれに準ずる学部、研究科等に在学し、令和2年度(2021年3月)または令和3年度(2022年3月)卒業(修了)予定者 ・日本学生支援機構第一種奨学金、第二種奨学金の貸与を受けている者 ・令和2年度卒業予定者(令和3年3月)または令和3年度卒業予定者(令和4年9月)末までに対象企業(詳細は募集要項参照)における、企画・開発、製造部門への就職を予定している者 ・令和2年度卒業予定者は令和3年4月初日、令和3年度卒業予定者は令和4年4月初日を起点とした10年間のうち8年間以上山梨県内に勤務し、かつ県内に定住する意向があること	記載無						
10月	直接応募	山梨県ものづくり人材就業支援事業奨学金	返還補助	卒業前2年間の貸与額(上限)		○	○			理学部、工学部もしくはこれに準ずる学部・研究科等						・令和3年度卒業予定者21名 令和3年度卒業予定者35名							
11月	直接応募	(公財)マブチ国際育英財団【翌年度支給】	給付	100,000円/月額	1年間			○	2年生	理系学部	併給不可(ただし修学支援新制度給付金の月額が5万円を超えた場合減額あり、授業料免除には影響なし)		○	○	・2021年4月現在、理学系学部1・2年次在学中の学生で、経済的理由で大学修学に困難している者(世帯年収500万円未満) ・健康で学業成績優秀(学部2年生の基礎成績:GPA2.5以上)の者 ・財団行事に参加し、奨学金終了後も財団との交流を継続する意志のある者 ・在籍大学の学長の推薦を受けられる者	40名程度	学内選考	2名	2名	2名			
11月	直接応募	旭化成奨学生	貸与	第1種100,000円/月額 第2種50,000円/月額 ※面接に合格し、結果により第1種、第2種を決定する	最終学年の1年間			○		化学・化学工学・機械・土木・建築・制御・電気・電子・強電・物理・情報・生物・薬学・農学・医学・獣医学など				○	○	・大学院修士(博士前期)課程、博士後期課程に在籍しており、2022年4月~2023年3月までに修了する者 ・旭化成株式会社に入社した場合は返還免除規定あり	30名程度						
11月	直接応募	日東紡奨学生	貸与	第1種50,000円/月額(無利子) 第2種100,000円/月額(無利子)	学部最大1年間 院最大2年間	○	○	○	4年生	化学・化学工学・機械・制御・電気・電子・強電・物理・情報・生物・薬学・農学・医学など	併用可					・平成31年4月現在、学部4年生、大学院博士課程前期および後期課程に在籍する者 ・所属研究科の専攻は繊維に関する専攻に限る ・経済困難よりも成績・研究に対する熱意や取り組み内容を重視	第1種5名程度 第2種5名程度						
11月	直接応募	(社)さぼろと21 生活支援プログラム(難民)【翌年度支給】	給付	240,000円/年額(月額20,000円)	1年間			○	○	○		併用不可		○	○	・日本在住の外国籍、元外国籍の学生で2021年4月に学部に進学中(2021年4月入学予定含む)の者 ・難民(インドシナ難民・ベトナム難民・第三国定住難民)とその子弟、または日系定住者(中南米など)または中国帰国者の子など(同等の事情があるとみなされる外国籍・元外国籍の学生も対象とする) ・在籍校が「難民」の学生は応募不可 ・学費の負担が困難な者 ・さぼろと21の実施する研修行事等に参加可能な者(交通費支給)	約20名						
11月	直接応募	<新規財団> ダイワ運輸グループ貸与奨学金(第二期)	貸与	50,000円以内/月額(無利子) ※50,000円を上限とし1万円単位で希望する額	正規の修業年限まで	○						併用可		○	○	・学部に在学する優れた学生で、新型コロナウイルス感染症に起因してアルバイト収入が減少した。あるいは保護者からの仕送りが減少した等により経済的に困難し、修学の継続に困難があると認められる者 ・大学卒業後2年以内にダイワ運輸グループに入社した場合は、奨学金返還の実質免除制度あり(詳細は募集要項参照)	10名						
11月	直接応募	山形県若者定着奨学金返還支援事業(産業界団体等連携枠)	返還補助	26,000円(※)×平成31年4月以降の貸与月数(上限額) ※指定就業先以外の県内事業者に選ばれた場合は13,000円		○	○									・山形県内の高校、特別支援学校高等部または専修学校高等課程の卒業生 ・学部、大学院修士(博士前期)課程に在学し、令和4年3月以降卒業(修了)予定の者 ・卒業(修了)後6か月以内に山形県内に居住し、3年間に継続する見込みの者 ・卒業(修了)後6か月以内に助成対象分野(詳細は募集要項参照)との指定就業先に就業し、3年間に継続する見込みがある者 ・日本学生支援機構第一種奨学金または第二種奨学金、山形県内市町村が実施する奨学金の貸与を受けている者	50名						
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業<やまがた若者定着枠>	返還補助	26,000円×令和3年4月以降に奨学金の貸与を受けた月数(上限額124万9千円)		○		○	前期							・山形県内に居住しながら県内の高等学校等を卒業し、学部、大学院(修士及び博士課程前期)に在学している者 ・県内企業等へ就業又は県内に就業を希望する者(対象外あり、詳細は募集要項参照) ・日本学生支援機構第一種・第二種奨学金、県内市町村の奨学金の貸与を受けている者又は今年度中に奨学金が異なる。各市町村の担当窓口または募集案内で確認すること	230名						
5月	直接応募	やまがた就職促進奨学金返還支援事業<産業界団体等連携枠>	返還補助	26,000円×令和3年4月以降の貸与月数 ※産業界企業以外に就業した場合、支援額は1/2になります。女性の場合+10万円		○		○								・山形県内の高等学校等を卒業し、学部、大学院に在学している者 ・卒業(修了)後13か月以内に山形県内に居住し、産業界(詳細は募集案内参照)に就業し、5年以上継続する見込みの者 ・日本学生支援機構第一種・第二種奨学金、県内市町村の奨学金、技能者育成資金の貸与を受けている者又は今年度中に奨学金を受ける予定の者	50名						
11月	直接応募	秋田県奨学金返還助成制度	返還補助	一般分:年返還額の2/3(上限133,000円) 未来年分:年返還額の10/10(上限200,000円)	奨学金貸与期間が3年を超える場合は2年間、2年以下3年以下の場合2年間	○										・日本学生支援機構第一種奨学金および第二種奨学金、秋田県育英会の大学月額奨学金等、その他財団別に定める奨学金(募集要項参照)の貸与を受けている者 ・平成28年4月1日以降に秋田県内に定住の意思を持って居住していること ・平成28年4月1日以降、秋田県内で就労していること ・既卒者も平成28年4月1日以降、居住、就労などの要件を満たせば応募可能 ・上記の応募要件を満たす者は一般の対象となり、一般の対象で財団が指定する特定業種認定企業等(詳細は募集要項参照)に就職する者が対象となる	30名程度	1名	0名	0名	0名		
12月	大学推薦	(一財)岩崎ととも奨学財団【翌年度支給】	給付	30,000円/月額	1年間			○	2年生以上		併用可		○	○	・2022年2月現在、学部2年生在学以上の者 ・「高等教育の修学支援新制度」による支援の認定を受けている者 ・学業成績優秀かつ学費の支弁が困難である者 ・採用後、奨学財団が指定する銀行に自身で普通預金口座を開設できる者 ・財団指定行事への出席を優先できる者	30名程度	1名	0名	0名	0名			

【令和3年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和3年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内のあった時期	申請方法	奨学名等	給付/貸与	金額(円)	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出願資格等			全体の採用者数	大学推薦枠	学内申請者数	大学推薦者数	大学採用者数	
						学部	修士	博士	研究生				学力優秀	経済困難	面接						その他の主な要件
3月	大学推薦	川崎市大学奨学生<川崎市>	貸与	38,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○	1年生			○	○	○	10名程度	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財)JPC奨学財団	給付	30,000円/月額(3ヶ月毎にまとめて支給)	最短修業年限まで	○	○	○	○	18歳	18歳		○	○	○	18名程度	2名程度	学部3名院21名	学部1名院1名	学部1名院2名	
3月	大学推薦	(公財)米濱・リンガーハット財団<鳥取県・長崎県>	給付	20,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2~4年生	2~4年生		○	○	○	6名程度(鳥取県3名、長崎県3名)	学内選考無	0名	0名	0名	
3月	大学推薦	(公財)村井順記念奨学財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	18歳	18歳		○	○	○	10名程度	若千名	院2名	院2名	院2名	
12月	大学推薦	(公財)博愛堂教育財団 教職養成奨学金 ※(公財)博愛堂教育財団 教職養成奨学金 ※(公財)博愛堂教育財団 教職養成奨学金 ※自宅外生の認定は採用後「自宅外通学立書」により財団が認定	給付	授業料相当額:50,000円/月額 ※授業料免除との併用の場合減額あり ※自宅外生の特別支援額:50,000円/月額 ※自宅外生の認定は採用後「自宅外通学立書」により財団が認定	最短修業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	55名程度	1名	1名	1名	1名	
3月	大学推薦	フジタ奨学金制度	給付	500,000円/年額(半期毎に250,000円を支給)	2年間	○	○	○	○	3年生	18歳	18歳		○	○	記載無	1名	学部0名院3名	学部0名院1名	学部0名院1名	
3月	大学推薦	JEES・光興産(生産技術)奨学金	給付	80,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	18歳	前期		○	○	○	3名程度	1名	3名	1名	0名	
3月	大学推薦	JEES・光興産(高度技術)奨学金	給付	80,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	18歳	前期		○	○	○	2名程度	1名	2名	1名	0名	
3月	大学推薦	(一財)大森三三記念財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2~3年生			○	○	○	20名程度	5名程度	院1名	院1名	学部0名院0名	
3月	大学推薦	<新規募集・今年度限り>(公財)浦上奨学金 新型コロナ特別奨学生	給付	50,000円/月額一時金:500,000円/初回のみ	最短修業年限まで	○	○	○	○	2~3年生			○	○	○	22名	1名	4名	1名	1名	
3月	大学推薦	(一財)鷹野学術振興財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円)	1年間	○	○	○	○	1~3年生	18歳	前期		○	○	若干名	学内選考無	1名	1名	0名	
3月	大学推薦	<新規財団>(一財)松原奨学財団	給付	30,000円/月額	2年間	○	○	○	○	2~3年生			○	○	○	30名	3名	8名	3名	0名	
3月	直接応募	(一財)鷹野学術振興財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円)	1年間	○	○	○	○	1~3年生	18歳	前期		○	○	若干名					
3月	直接応募	(公財)ダイオーズ記念財団	給付	10,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	2~4年生			○	○	○	15名程度					
3月	直接応募	(公財)朝鮮奨学会	給付	学部:25,000円/月額 修士:40,000円/月額 博士:70,000円/月額	1年間	○	○	○	○					○	○	○	学部770名院110名				
2月	直接応募	(公財)キーエンス財団	給付	80,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○	18歳			○	○	○	500名程度				1名	
3月	直接応募	(公財)キーエンス財団(応援給付金)	給付	300,000円/1回	1回限り	○	○	○	○	2~4年生			○	○	○	1,000名程度					
3月	直接応募	(公財)日本通運賞金会	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	20名					
3月	直接応募	(公財)戸部真紀財団	給付	50,000円/月額(年間600,000円) ※他の奨学金との併給(返済義務なし)の場合は半額となる場合がある	1年間	○	○	○	○	3~4年生			○	○	○	40名程度					
3月	直接応募	(公財)常盤奨学会 <いわき市、北茨城市およびその周辺地域>	貸与	30,000円/月額(無利子) 理系:35,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	5名程度					
2月	直接応募	上越市学生奨学金 <上越市、妙高市、糸魚川市>	貸与	学部:70,000円/月額(無利子) 大学院:100,000円/月額(無利子)	貸付決定日から最短修業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	学部6名院1名(前年度実績)					
3月	直接応募	(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団<沖縄県>	貸与	学部:45,000円/月額(無利子) 修士:70,000円/月額(無利子) 博士:80,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで(1年毎の継続審査あり)	○	○	○	○				○	○	○	学部107名程度院9名程度				1名	
3月	直接応募	(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団<沖縄県>(追加募集)	貸与	学部:45,000円/月額(無利子) 修士:70,000円/月額(無利子) 博士:80,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで(1年毎の継続審査あり)	○	○	○	○				○	○	○	学部101名程度院若干名程度					
3月	直接応募	公益信託池田育英会(愛媛県)	給付	17,000円/月額(7月・1月に102,000円を給付)	最短修業年限まで	○	○	○	○	2年生以上			○	○	○	5名(予定)					
2月	直接応募	(一財)トヨタ女性技術者育成基金	貸与	600,000円/年額(実質無利子)	在学期間中(留年は不可)	○	○	○	○	18歳	18歳		○	○	○	100名程度(前年度実績)					
3月	直接応募	福井県ものづくり人材育成奨学資金 <新規募集は今年度(R3)で終了>	貸与	60,000円/月額(無利子)	最短修業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	15名程度					
2月	直接応募	(公財)志建設技術人材育成財団<兵庫県>	給付	500,000円/年額	最短修業年限まで(在学期間)	○	○	○	○	18歳			○	○	○	5名					
3月	直接応募	(一財)神山財団	給付	200,000円/年額(年1回の一括支給)	2年間を限度	○	○	○	○	18歳			○	○	○	20名程度					
3月	直接応募	(公財)古河記念基金	給付	自宅:30,000円/月額 自宅外:35,000円/月額	最短修業年限まで(最長6年)	○	○	○	○	2年生以上			○	○	○	記載無				4名	
5月	直接応募	(一財)ユニオン奨学財団	給付	30,000円/月額	最短修業年限まで(最長6年)	○	○	○	○				○	○	○	10名程度					
2月	直接応募	(公財)サカタ財団	給付	70,000円/月額	給付開始月から正規の修士課程修了日まで	○	○	○	○	2年生			○	○	○	10名					
3月	直接応募	和歌山県奨学金返還助成制度	返還補助	奨学金返還に相当する額(最大1,000,000円)	参画企業に就職し3年勤務後	○	○	○	○				○	○	○	50名					
3月	直接応募	いわき市未来につなぐ人材応援奨学金返還支援事業	返還補助	在学中に貸与を受けた奨学金の2分の1 ※ただし、(64,000円×奨学金貸与月数)の2分の1の額又は1,536,000円いずれか少ない額を上限とする		○	○	○	○				○	○	○	50名程度					
随時	大学推薦	JASSO支援金	給付	100,000円/1回	同一の災害につき1回	○	○	○	○				○	○	○	記載無	学内選考無	3/31	3/31	3/31	
随時	大学推薦	石川育英奨学金<石川県>【緊急採用】	貸与	44,000円/月額(無利子)	採用決定から採用年度末まで(継続申請あり)	○	○	○	○				○	○	○	5名以内	学内選考無	3/31	3/31	3/31	
1月	大学推薦	<新規財団>阪和育英会	給付	30,000円/月額	最短就業年限まで	○	○	○	○				○	○	○	20名程度	1名	6名	1名	1名	
4月	直接応募	エイブル文化振興財団	給付	100,000円/年額	1年間	○	○	○	○				○	○	○	40名程度	学内選考なし				
4月	直接応募	岡本育英奨学金	給付	480,000円/年額	2年間	○	○	○	○	3年生			○	○	○	10名				1名	
3月	直接応募	中村育英奨学会	給付	480,000円/年額	2年間(学部3~4年次)	○	○	○	○	3年生			○	○	○	10名					

【令和3年度 日本人等民間奨学金リスト】

※ このリストは、令和3年度に学内で募集実績のあった奨学金一覧です。今年度も必ず募集があるとは限りません。また、募集条件も変更になる可能性もありますので、必ず募集要項等で詳細を確認してください。
 ※ 奨学財団から募集依頼がある度に、掲示板および学生支援課ウェブサイトでお知らせしています。

案内の あった 時期	申請方法	奨学会等名	給付/ 貸与	金額(円)	受給期間	課程				年齢	専門分野	併用条件	出願資格等			全体の 採用者数	大学 推薦種	学内 申請者数	大学 推薦者数	大学 採用者数	
						学部	修士	博士	研究生				学力 優秀	経済 困難	面接						その他の主な要件
3月	直接応募	(一財)山村章奨学財団	給付	480,000円/年額	2年間(学部3-4年次)	○ 3年生				2021年4月1日 時点で29歳以下	工学系	併給可		○	<ul style="list-style-type: none"> 工学系学部(工学部及びこれらに類するもの)に在籍する学部3年生で日本国籍を有すること 経済的な理由により学資の支弁が困難であること 就学状況及び生活状況について適時報告できること 学業成績 GPA3.0以上が目安、家計状況の目安は募集要項を参照 	10名					
9月	直接応募	<新規財団> (一財)生涯学習開発財団	給付	500,000円/1人			○	○		50歳以上			○	○	<ul style="list-style-type: none"> 50歳以上の日本国内に在住している者(性別、国籍、所属を問わない) 博士課程(博士後期課程を含む)に在籍するか、論文博士号の取得をめざし、かつ実効性が高い研究計画を作成した者、もしくは博士論文の一部をすでに作成した者 日本国内の大学で博士号を取得予定の者 選考決定証授与式(2022年3月)に出席できる者 財団のホームページ及び情報誌にて、氏名・年齢・研究タイトル・写真の公開を了承する者 						
10月	直接応募	<新規財団> (公財)阪部国際奨学財団	給付	100,000円/月額	2年間	○	○	○		学部24歳未満 修士28歳未満 博士35歳未満		他の機関から給付・貸与を合計10万円を超える奨学金を受けていない者	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 大学・大学院に在籍する正規学生のうち学業優秀で、人格円満であり、心身ともに健康である者、本人の収入、資産または生計維持者からの支援では将来の目標を実現することが困難と認められる者 日本語能力試験2級以上の日本語能力を有すると認められる者 	15名程度				